

東北地方 1か月予報

(3月13日から4月12日までの天候見通し)

平成16年3月12日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

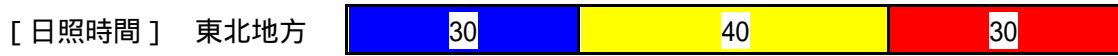
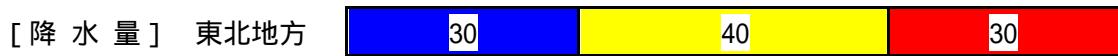
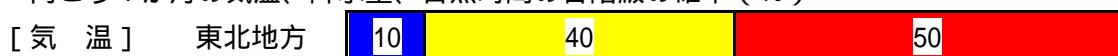
向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変化するでしょう。

向こう1か月の平均気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は高い、2週目は平年並か高い、3～4週目は平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 3月13日(土)～4月12日(月)

1週目 : 3月13日(土)～3月19日(金)

2週目 : 3月20日(土)～3月26日(金)

3～4週目 : 3月27日(土)～4月9日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は3月19日

3か月予報：3月25日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	5.4	116.8	173.2	3.4	4.3	6.5
新庄	3.9	107.2	133.6	1.9	2.8	4.9
若松	5.4	67.6	154.3	2.8	4.0	6.6
深浦	4.7	87.8	149.8	2.5	3.5	5.8
青森	4.1	64.2	166.9	1.9	3.0	5.2
むつ	3.5	77.5	174.0	1.3	2.3	4.6
八戸	4.5	54.4	184.8	2.1	3.2	5.6
秋田	5.4	102.1	160.0	3.1	4.2	6.5
盛岡	4.1	88.5	171.0	1.7	2.8	5.3
宮古	5.0	96.5	187.8	2.9	3.8	6.1
酒田	6.2	103.3	150.3	4.1	5.1	7.2
山形	5.4	66.7	161.0	2.9	4.0	6.6
仙台	6.5	87.2	187.8	4.4	5.3	7.5
石巻	5.7	82.8	192.6	3.6	4.6	6.7
福島	7.1	83.2	184.4	4.8	5.8	8.2
白河	5.7	90.6	183.3	3.5	4.5	6.9
小名浜	7.9	124.9	186.6	6.1	6.8	8.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.2~+0.4	87~111	97~105
東北日本海側	-0.2~+0.3	88~108	94~105
東北太平洋側	-0.2~+0.3	83~117	97~105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.6	-0.5~+0.6	-0.4~+0.6
東北日本海側	-0.6~+0.6	-0.5~+0.6	-0.5~+0.5
東北太平洋側	-0.6~+0.6	-0.5~+0.6	-0.4~+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を受けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成16年3月12日 仙台管区気象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(3月13日~4月12日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。

平均気温は高いでしょう。

1週目(3月13日~3月19日) :

明日(13日)から明後日(14日)にかけて気圧の谷の影響で、東北日本海側を中心に曇りで雨や雪の降る所がある見込みです。期間の中頃は高気圧に覆われ晴れる日がありますが、期間の終わりは気圧の谷の影響で天気のくずれる所がある見込みです。

平均気温は高いでしょう。

2週目(3月20日~3月26日) :

天気は数日の周期で変化しますが、高気圧に覆われて晴れる日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3~4週目(3月27日~4月9日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

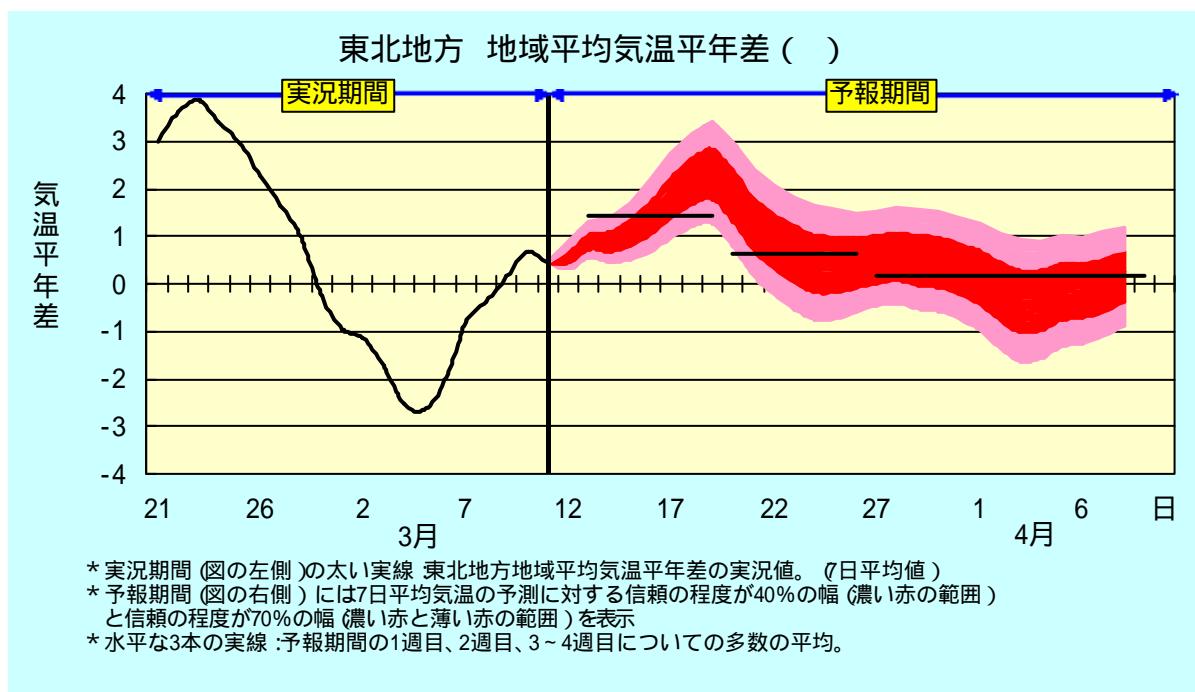
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.8日	3.1日	3.3日	7.4日
東北太平洋側	17.8日	4.8日	4.4日	8.6日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目は「高い」、2週目と3~4週目は「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から2週目を「平年並か高い」に変更する。

なお、数値予報の信頼度は大きい。

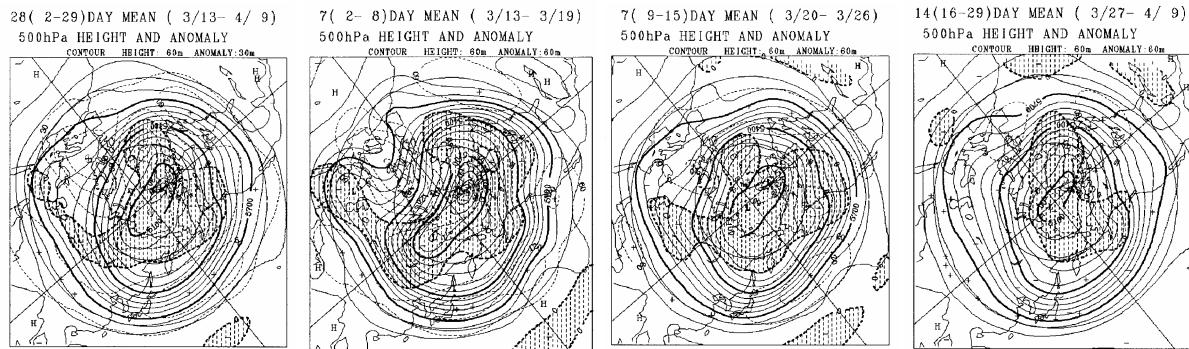


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近が負偏差で東経 90 度付近と北米大陸に負偏差がのびるが、日本を含む中緯度帯は広く正偏差で極東域への寒気の南下は弱い。日本付近は西谷傾向。

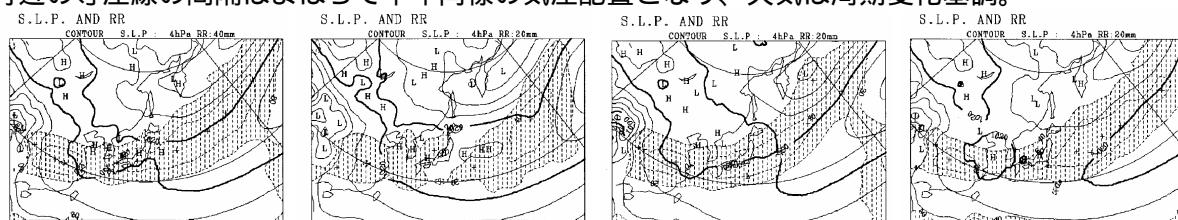
週別に見ると、1週目は、日本付近を含む中緯度帯は広く正偏差に覆われる。2週目も、極東域では負偏差は高緯度に止まり、日本付近は太平洋の日付変更線付近に中心を持つ正偏差に覆われる。3~4週目は、引き続き、極付近が負偏差、中緯度帯は正偏差。



地上気圧と降水量：

月平均では、アリューシャン低気圧は平年に比べ弱く、日本付近は東西に伸びる高気圧の中に入る。本州の太平洋側に帯状にまとまった降水域が予想される。

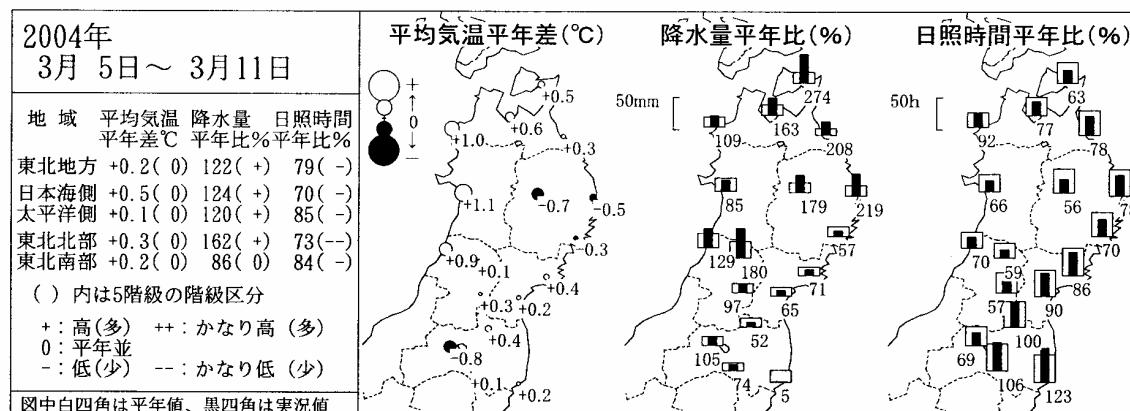
週別に見ると、1週目、2週目は日本付近は東西にのびる高気圧の中に入る。3~4週目は日本付近の等圧線の間隔はまばらで平年同様の気圧配置となり、天気は周期変化基調。



4. 最近1週間（3月5日～3月11日）の天候の経過

期間の前半は冬型の気圧配置となる日が多く、東北日本海側は曇りや雪、東北太平洋側は概ね晴れたが、6~7日は低気圧が発達しながら東北地方を通過したため雪となり、6日の降雪の深さの合計が宮古41cm、盛岡38cmと東北太平洋側の北部を中心に大雪となった。10日は移動性高気圧に覆われ晴れた所が多く、また、沿海州の低気圧に向かって暖かい南風が吹き込んだため、各地で気温がかなり高くなった。11日は寒冷前線の通過により曇りや雨となり、秋田県では雨や融雪により山がけ崩れの被害が発生した。なお、11日は各地で黄砂を観測した。

平均気温は平年並。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）